

笑顔あふれる

2日間

「子ども霞が関見学デー」

「子ども霞が関見学デー」は、親子のふれあいを深めて子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会とするため、平成12年度から実施されています。今年度は、8月7日から8日に農林水産省をはじめとする24府省庁が連携し、各職場の見学や、各府省庁の特性を活かした様々なプログラムを設けて実施されました。農林水産省には、昨年の約2倍の6千3百人余りの皆さんが参加され、省内は好奇心いっぱいの子もたちで賑やかな2日間となりました。



小枝のキーホルダーとマイはし

木工教室

でキーホルダーとマイはし作り



小枝のキーホルダー作り

林野庁の「子ども霞が関木工教室」のコーナーには、大盛況だった昨年に引き続き、小枝のキーホルダー作りやマイはし作りができるブースが設置されました。約1千人の子もたちが参加し、整理券を配ったキーホルダー作りには行列ができるなど今年も活気のあるコーナーになりました。

木工教室でキーホルダー作りを体験した子どもたちは、スギやケヤキ、シラカバなど5種類の輪切りにした小枝から好きなものを1つ選び、思い思いの絵を描きました。マイはし作りに挑戦した子どもたちは、慣れないながらも一生懸命カンナを使い、ヒノキやスギなどの木片からオリジナルの箸を作りました。小枝のキーホルダーやマイはしを作った子どもたちからは、楽しそうな表情と共に、元気のよい「ありがとございました」の声が聞かれ、自分の作ったものを大切そうに持ち帰っていました。



マイはし制作中

「みどりの大使」ミニライブ開催

賑やかな会場内のステージでは、農林水産省から「みどりの大使」に任命されているミュージカル「葉っぱのフレディ」の子役たちによるミニライブが行われました。

ミニライブでは「みどりの大使」が歌を披露するとともに、「みどりのアピール宣言」を通して多くの来場者に森林の大切さや木を使うことの重要性を伝え、会場は大きな拍手で包まれました。



会場を盛り上げた「みどりの大使」